

## 令和6年度(第70回)齋藤茂吉文化賞受賞者の決定について

9月11日(水)午前10時30分から県庁内において齋藤茂吉文化賞委員会を開催し、令和6年度(第70回)齋藤茂吉文化賞の受賞者を以下のとおり決定しました。

## 受賞者

(敬称略、五十音順)

受賞者 (団体)名	年齢	住所 所在地	功績概要	分野
おざわ せいこう 小澤 成光	82	山形市	山形県芸術文化協会常任理事、山形市芸術文化協会副会長 ・県総合美術展(県美展)や東北現代美術協会公募展(北展)など、多くの展覧会に出展し、昭和50年には県美展の最高賞である県展賞を受賞するほか、数々の賞を受賞。 ・学校教育や東北芸術工科大学との連携などを通して県美展や山形市民美術展の企画・運営に尽力し、本県美術界の中心的存在として本県の芸術文化全体の振興、発展に貢献。	美術 (絵画)
かんの たいせき 菅野 苔石 (悦正)	85	山形市	東邦書道会会長、山形県民書道会参与、全日本書道連盟評議員等 ・高校や短期大学等で多くの生徒達へ書道を指導する傍ら、自らも書道の研鑽を重ね、日展や読売書法展等での入選実績も多く、県内書道会の中心的存在として県内の書道文化の発展に貢献。 ・東邦書道会の会長として「東邦書道会展」を毎年開催するとともに、「県民ふれあい書道展」の総務長として毎年の開催に尽力し、「県民ふれあいジュニア書道展」も併催するなど、山形県の書道の発展に貢献。	美術 (書道)
ゆむら しゅんおう 湯村 春奥 (常子)	82	山形市	一般財団法人小原流本部理事、一般財団法人小原流山形県支部連合会会長、山形県華道文化協会相談役、山形県芸術文化協会常任理事等 ・小原流山形支部長に就任後、花展の開催や山形駅コンコースにおける花の展示等を継続するとともに、後継者育成にも力を入れ、優秀な教授者を多数輩出。 ・日本いけばな芸術協会会員や山形県華道文化協会会長として、県内華道文化の振興、発展に寄与するとともに、山形県芸術文化協会常任理事として、県内芸術文化の発展に尽力。	華道
生涯学習施設 りじんかん 里仁館	H14	酒田市	・平成14年に県立高校の旧校舎を活用し、誰もが学ぶことのできる生涯学習施設として設立。これまで多くの講師を招いて多種多様な講座を提供し、子どもから高齢者まで誰もが学べる生涯学習を実践してきた。 ・受講者や時代の要望に合わせた講座を提供しつつ、庄内や山形の自然、郷土文化、歴史、民俗、人物等に関する講座も数多く提供し、県内の郷土文化の普及や人材育成に貢献してきた。	人文 科学 (郷土文化)

※ 受賞者の生年月日、電話番号、住所(地番)、写真の電子データが必要な場合は、事務局までお問い合わせください。

(参考)

1 贈呈式（山形県産業賞と合同で開催）

日時：令和6年11月3日（日）午前10時30分から

場所：山形県郷土館「文翔館」（山形市旅籠町）

2 齋藤茂吉文化賞について

齋藤茂吉文化賞は、茂吉翁の偉業を偲び昭和30年に創設されたもので、芸術又は学術の面で功績があり、本県文化の向上に寄与された個人又は団体を顕彰しているものです。

選考は、学識経験者等で構成する齋藤茂吉文化賞委員会（委員長：知事）が行い、広く県内各方面から推薦を受けた方々の中から受賞者（個人又は団体）を決定します。

3 これまでの受賞者（第1～69回）

① 芸術部門	文 学	個人	47	団体	2
	美 術		38		11
	演 劇		13		7
	音 楽		17		5
	そ の 他		17		5
② 学術部門	人文科学		39		4
	自然科学		16		1
合 計			187		35

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【問い合わせ先】

県民文化芸術振興課 課長補佐 遠藤

電話：023-630-2012

報道監 観光文化スポーツ部次長 丸子

令和6年度（第70回）齋藤茂吉文化賞受賞者



小澤 成光 氏



菅野 苔石（悦正）氏



湯村 春奥（常子）氏



生涯学習施設「里仁館」

# 令和6年度(第70回)齋藤茂吉文化賞受賞者 功績概要書

氏名	おざわ せいこう 小澤 成光
年齢	82歳
住所	山形市
部門	美術(絵画)
具体的功績	
<p>1 本業の傍ら絵画の制作を続け、県美展、東北現代美術協会公募展(北展)など、多くの展覧会に出品し、昭和50年には県美展の最高賞である県展賞を受賞したほか、数々の奨励賞を受賞している。</p> <p>2 平成15年に本県で開催された国民文化祭では、美術専門部の副部長、県企画委員会副委員長として成功に導いた。 また、東北芸術工科大学との連携など若い世代の出品を促す環境づくりに取り組むことで、県美展の活性化に努めたほか、こども県展でも審査に学校教員を招聘することで応募数の増加につなげるなど、本県美術界の発展のために献身的に活動した。</p> <p>3 山形市芸術文化協会の有志とともに山形中心市街地を会場に「ぶらぶらアート」を開催するなど、アートを活用した地域の賑わい創出にも取り組み、県民が気軽に芸術を楽しめるような活動を行った。</p> <p>4 山形市芸術文化協会の役職を歴任し、令和2年度には会長を務めた。新型コロナウイルス感染症の影響が社会全体に及ぶ中、関係団体と連携しながら意見を取りまとめ、山形市総合芸術祭を開催したほか、令和4年度から開催されている山形市の「やまがた秋の芸術祭」では、関係団体や障がい者アートの関係者と連携して街なかの店舗などにアートを展示するイベント「まちなかアート」を成功に導いた。 本県の美術界の中心的存在として、多年にわたり美術界の発展のために献身的に活動し、本県の芸術文化の向上に大きく貢献している。</p>	
備考	
1 現在の役職	山形県芸術文化協会常任理事 山形市芸術文化協会副会長(前会長)
2 主な受賞歴	昭和40年 第一美術展 第一美術賞 昭和50年 山形県美展 県展賞 平成21年 山形市功労表彰 平成24年 山形県教育功労者表彰

令和6年度(第70回)齋藤茂吉文化賞受賞者  
功績概要書

氏名	かんの たいせき えつまさ 菅野 苔石 (悦正)
年齢	85歳
住所	山形市
部門	美術(書道)
具体的功績	
<p>1 高校や短期大学等で多くの生徒達へ書道を指導する傍ら、自らも書道の研鑽を重ね、県内のみならず、日展や読売書法展等の中央展での入選実績も多く、県内書道会の中心的存在として県内の書道文化の発展に貢献してきた。</p> <p>2 昭和23年に菅野小鶴ら教員によって組織された東邦書道会の2代目会長に就任。研究心をもって組織を整え、書道の発展に寄与した。東邦書道会は全国に4,000人の会員を有し、東邦書道会展を山形美術館で毎年開催しているほか、月刊誌「書範」を発行している。</p> <p>3 「県民ふれあい書道展」の総務長として、平成6年の創設から毎年企画運営に尽力し、一般公募の出品を多数集める大型の書展の開催に貢献している。また、幅広い年代が参加する「県民ふれあいジュニア書道展」も併催するなど、山形県の書道の発展に尽力してきた。</p> <p>4 令和5年に初めての個展を山形美術館で開催し、これまで研鑽してきた創作活動の集大成として古典から調和体まで幅広い作品を展示した。個展には、多くの書道愛好家が足を運び好評を博すとともに、古典派の筆法の妙に新味が加わった書展が評価され、山形県芸術文化協会賞を受賞した。</p>	
備考	
1 役職名	東邦書道会会長 山形県民書道会参与 全日本書道連盟評議員 等
2 主な受賞歴	日展入選21回、毎日書道展毎日賞、読売書法会読売新聞社賞 令和6年 山形市功労表彰(教育、文化等)、山形県芸術文化協会賞

# 令和6年度(第70回)齋藤茂吉文化賞受賞者 功績概要書

氏名	ゆむら しゅんおう つねこ 湯村 春奥 (常子)
年齢	82歳
住所	山形市
部門	華道
具体的功績	
<p>1 昭和38年に小原流に入門して以来、幼稚園教諭として働く傍ら華道に取り組み、退職後は、後進の育成に尽力するとともに、一級家元教授として活躍している。</p> <p>2 小原流においては、平成12年に山形支部長に就任後、花展の開催や山形駅コンコースにおける花の展示、また、東京をはじめ全国の小原流花展への展示などを続け、後継者の育成、特に教授者(研究院講師)の育成に力を入れ、優秀な教授者を多数輩出した。 また、平成26年に山形県支部連合会会長に就任、平成28年には東北代表委員に就任し、東北全体の代表として、華道文化の発展に大きく貢献している。</p> <p>3 日本いけばな芸術協会会員や山形県華道文化協会会長として、県内の華道文化の振興、発展に寄与するとともに、山形県芸術文化協会常任理事として華道文化のみならず県内の芸術文化の発展のために力を尽くしている。</p> <p>4 地域においては、公民館や企業団体を対象とする講演や、少年鑑別所における矯正事業にも携わり、花の持つ美しさ、優しさを通じて耐えることの必要性、人生を送る厳しさを伝え、人としての道を教導する活動に取り組んでいる。</p>	
備考	
1 役職名	(一財)小原流本部理事 (一財)小原流東北地区代表委員 (一財)小原流山形県支部連合会会長 山形県華道文化協会相談役 山形県芸術文化協会常任理事 山形市芸術文化協会副会長 等
2 受賞歴	平成18年 山形市民文化賞 平成25年 仙台矯正管区長感謝状 平成31年 山形市功労者表彰 令和4年 法務大臣感謝状(社会を明るくする運動)

令和6年度(第70回)齋藤茂吉文化賞受賞者  
功 績 概 要 書

氏 名	生涯学習施設「 <sup>りじんかん</sup> 里仁館」
代 表 者 名	館長 富士 直志
住 所	酒田市字新屋敷 1 6
部 門	人文科学（郷土文化）
具体的功績	
<p>1 生涯学習施設「里仁館」は、平成 14 年に県立高校の旧校舎を活用し、誰もが学ぶことのできる生涯学習施設として設立。これまで多くの講師を招いて多種多様な講座を提供し、子どもから高齢者まで誰もが学べる生涯学習を実践してきた。</p> <p>2 受講者や時代の要望に合わせた講座を提供しつつ、庄内や山形の自然、郷土文化、歴史、民俗、人物等に関する講座も数多く提供し、県内の郷土文化の普及や人材育成に貢献してきた。</p>	
備 考	
主な受賞歴 平成 27 年 庄内銀行ふるさと創造基金 地域貢献大賞	